

令和2年度 第8回 政策決定会議 会議録

◆開催日時:令和2年9月29日(火) 10:00~10:45

◆開催場所:市長公室

◆出席委員:永野市長、堤副市長、大下教育長

◆審議事項

・令和3年度予算編成方針について……………財政課⇒承認

◆審議概要

『令和3年度予算編成方針について』

〈説明者〉坂井財務部長、西田財政課長、浅野調整主幹、三宅予算担当長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件一部修正のうえ承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する可能性があり、予算編成についても短期的視点だけでなく長期的な視点を持って行い、前例を理由とせず、事業の効率化を図っていく必要があること。また、行政サービスのあり方において、行政だけでなく、市民の対価意識の醸成を促す必要があること。
- ② 方針6について、『重点目指す成果』を十分意識することと、「全ての事業において『選択と集中』を原則とし、検討すること」は、直接的なつながりはなく、ともに行うものであることがわかる文言に変更すること。
- ③ 予算編成方針についての説明会では、背景や本市の財政状況について具体的な内容も含んだものとし、出席者だけでなく課内全体で意思疎通が図れるように周知するよう促すこと。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉「2040年問題を視野に入れた」とあるが、原文を引用し、「2040年頃までの課題を視野に入れた」とするよう。

〈総合政策部長〉説明会においては、人口減少などの具体的な内容について、口頭で説明するよう。

〈市長〉例年との大きな違いは新型コロナウイルス感染症との共存であるが、具体的に指針のどこに書かれているのか。

〈三宅担当長〉コロナ禍を意識した点としては、方針6点目であり、「新たな日常」と冒頭に表記している。「重点目指す成果」の7項目について、コロナ禍を意識したうえで政策に取り組むということで予算要求をいただきたいという趣旨としている。

〈財政課長〉戦略計画で7項目に絞って推し進めている。既にコロナという事象が起きてしまっているので、この終息後にはいわゆるニューノーマルを考えざるをえないというところがあり、新たな日常を考えながら7つの柱をどう動かすのかという視点でもってそれに見合うような

予算を考えるように、ということを伝えたかった。

〈市 長〉コロナへの対策について、市民も一番関心を寄せる部分である。

〈堤 副 市 長〉今回の議論は市の予算編成方針であるが、コロナ対策の財源はほぼ国庫支出金であり、コロナ対策を市の財政で補うのは難しい。

〈市 長〉役割分担をしっかりとしなければいけない。公衆衛生や保健面でのコロナ対策は大阪府の、経済対策は国の役割である。そして、それら各種制度と市民をつなげるのが市役所の役割である。制度を作りお金を用意し市民に配るのは市役所の本来の役割ではなく、そういった仕組みと市民を漏れなくつなげることが我々の仕事であることを伝えていかなければならない。そのため、コロナに対し、皆が新しい日常を身につけ、それに対応したまちづくりをし、企業や市民を守っていくために、市の役割としては、各制度を市民につなげていくことだということを持っておかないとぶれてしまう。

〈堤 副 市 長〉方針6点目については、「新たな日常を十分に踏まえながら」というような文言とするように。

〈教 育 長〉新たな日常の理解について、時間軸で捉えるべき。コロナによって受けた被害をどのように回復するかというのは短期的な対応であり、新たな日常ではない。新たな日常とは、今回の感染症の流行で学んだことによって、社会を新しい形に作り替えていくという中・長期の時間軸で物事を考えていく方法。IT 技術を活用してより間接的に社会を動かしていく仕組みを各分野で導入していくこともひとつである。新たな日常に対する共通認識を市役所の中で持つておかないと、ここでいくら議論しても空回りしてしまう。その時のキーワードは時間軸だと考えている。時間軸で整理をすることで、予算要求をするにしても査定をするにしてもひとつの指針として生かせるのではないか。

〈市 長〉国・府・市の役割分担についても明確に方針をもっておくように。

〈財 政 課 長〉方針の1ページ目前段に、短期的な対応として、「本市においても、コロナ対策として、『市民を守る』『経済を活かす』『市民の利便性の向上』の3つの視点から、～時期を逸することなく、臨機応変な対応に取り組むことが必要である。」としている。ここに本市の役割として適切に事業を行っていくという考え方をに入れていく。

〈市 長〉職員全員が誤った説明をすることがないように、文言の整理や市の役割について庁内の共通認識を持ち、市民に安心してもらえるような予算編成ができるようにする必要がある。

〈教 育 長〉本市の厳しい財政状況について、財政計画と合わせて説明するように。

〈財 政 課 長〉本方針案の修正箇所について、1ページ目前段は、「本市においても、コロナ対策として、“国・府・市の役割分担をふまえ”『市民を守る』～」とし、方針6点目については、新たな日常の定義を書き添え、「十分に踏まえながら」という文言追加する。また、「本市の財政状況を十分把握したうえで、選択と集中を意識し行うように」というような文言を付して仕上げる。

〈総合政策部長〉本案件について、原案を一部修正し、承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案を一部修正のうえ承認する。

令和2年9月 23 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 財務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和3年度予算編成方針について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当
説明者	西田財政課長 浅野調整主幹 三宅予算担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第8回会議
付議事項	令和3年度予算編成方針について

★取組の目的

対象	職員
どのような状態を目指す	令和3年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

★総合計画上の位置付け

202020201	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②計画的に財政運営が行われている
	行政の役割	ア 中長期の視野に立ち、効果的・効率的な財源配分を行う

★現状と課題

令和3年度予算編成にあたり、その骨子となる予算編成方針について、付議する。 ■効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第3条第2号に該当

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	目標値				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。